

## 【愛知県】

**現在の景気：**緩やかな回復。

**3か月程度の見通し：**緩やかに回復するとみられている。

**個人消費：**やや悪化。2月の大型小売店販売（店調後）は、百貨店販売が前年比0.9%減少、スーパー販売が0.8%減少し、全体では前年比0.8%減と7か月連続で減少。3月の名古屋市主要百貨店（5社）の売上（速報）は前年比3.5%増加。衣料品を中心に春物商品が増加したほか、ホワイトデー商戦も好調。

**住宅建築：**悪化。2月の住宅着工戸数は、持家が前年比9.1%減少、貸家が35.0%減少、分譲住宅が1.9%減少し、全体では前年比17.4%減少。

**設備投資：**やや良化。共立総合研究所の「2012年3月K-R E X（共立地域景況インデックス）」によると、設備投資K-R E Xは前回調査（12月調査）比3.8ポイント上昇し△40.2。

**公共工事：**低調。2月の公共工事請負額は前年比4.7%減少。2011年度累計は前年度比9.3%減少。

**輸出：**回復傾向。2月の通関輸出額（4港合計：名古屋港、中部国際空港、衣浦港、三河港）は前年比3.7%増と4か月ぶりに増加。輸出額全体の大半を占める名古屋港の輸出額は半導体等製造装置が前年比42.3%減少、繊維機械が44.1%減少し、全体では前年比0.3%減と3か月連続で減少。中部国際空港は、半導体等製造装置、半導体等電子部品などが増加し、全体では前年比23.1%増と5か月連続で増加。

**生産活動：**良化。1月の鉱工業生産指数（季調済）は、電子部品・デバイスが前月比16.8%低下、化学が3.5%低下、精密機械も低下したものの、鉄鋼業が5.2%上昇、情報通信機械が51.4%上昇、輸送機械が4.9%上昇、一般機械も上昇し、全体では前月比3.7%上昇し97.7。原指数は前年比6.9%上昇。

**観光：**回復基調。2月の中部国際空港の旅客数は前年比4%増の約72.3万人と5か月連続で増加。国際線が前年比5%増の約36.3万人、国内線が3%増の約36.0万人。

**雇用情勢：**良化。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.03ポイント上昇し1.05倍。新規求人倍率（季調済）は前月比0.13ポイント上昇し1.74倍。

### （トピックス）

- 2月のトヨタ自動車の国内生産（単体）は前年比22.1%増と7か月連続で増加。
- 愛知県では、東三河地域の振興を愛知県全体の飛躍の柱とし、地域資源を活かした振興施策の推進のため本庁組織内に「東三河県庁」を設置。本庁機能の一部を地域の地方機関へ移管し、総合的・自主的な対応が図れるよう機能強化を進める。
- 1月の景気動向指数C I（県統計課）は、先行指数が前月比2.3ポイント上昇し99.4と3か月ぶりに上昇、一致指数が1.4ポイント上昇し93.6と2か月連続で上昇、遅行指数が2.6ポイント上昇し87.2と2か月連続で上昇。一致指数（採用系列8系列）は、輸入通関実績、投資財生産指数、鉱工業生産指数、有効求人数（学卒除く、パート含む）の4系列で寄与度がプラス、実質百貨店販売額、大口電力消費量、企業収益率（製造業）、労働時間投入度の4系列でマイナス。県統計課では「これまでの動きから判断すると、景気は緩やかに持ち直している」とみている。

< 主要産業の動向 ー愛知県ー >

- **一般機械**：やや良化。1月の一般機械工業生産指数は前月比2.0%上昇し78.1。2月の中部経済産業局管内主要8社の金属工作機械受注状況は、総受注高が前年比10.7%減と27か月ぶりに減少。
- **電気機械**：良化。1月の電気機械工業生産指数は前月比2.2%上昇し103.1。
- **輸送機械**：良化。1月の輸送機械工業生産指数は前月比4.9%上昇し110.1。自動車部品は、タイ洪水の影響による減少を挽回する動きに加え、引続き海外需要が好調なことから増加。航空機体部品は、メンテナンス需要に動きがあることから、緩やかな増加基調。
- **窯業・土石製品**：良化。1月の窯業・土石製品工業生産指数は前月比5.0%上昇し75.8。